

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 24 年 9 月

A-12-13

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、HTLV 抗体検査におきまして、化学発光免疫測定法(CLIA 法)を用い、HTLV-1 抗体と HTLV-2 抗体を同時に検出可能な試薬が開発されましたので、測定方法を変更させていただきます。尚、新法は非特異反応が少なく、感度・特異度に優れており、HTLV 抗体の検出に有用となっております。

これに伴い、下記検査内容を変更させて頂きたくご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 平成 24 年 10 月 9 日 (火) ご依頼分より

◆ 変更内容

2012 年 検査案内	項目コード	検査項目	変更内容	新	旧
p .22	13090	HTLV-1 抗体 (ATLA 抗体)	検査項目名	HTLV I / II 抗体	HTLV-1 抗体 (ATLA 抗体)
			基準値	陰性	陰性
			報告形式	判定 (※陽性時は別紙報告致します。)	判定
			検査方法	CLIA 法	CLEIA 法
			所要日数	2 日	3~6 日

裏面に続く

● 新法(CLIA 法)と旧法(CLEIA 法)との相関

〔 参考文献：医学と薬学 65 巻 5 号 2011 年 5 月「化学発光免疫測定法(CLIA 法)による新しいヒト T 細胞白血病ウイルス(HTLV)抗体全自動検出試薬の評価」〕

* 新法(CLIA 法)と旧法(CLEIA 法)との一致率

		旧法 (CLEIA 法)		計
		陽性	陰性	
新法 (CLIA 法)	陽性	98	※4	102
	陰性	0	118	118
計		98	122	220

陽性一致率 100%(98/98) 陰性一致率 96.7%(118/122)

判定一致率 98.2%(216/220)

※ 乖離した4例は、HTLV-1 キャリア検体で、3例はウエスタンブロット陽性、1例はウエスタンブロット判定保留であり、CLIA法では感度100%(102/102)、特異度 100%(118/118)の結果であった。

以上